

授業科目名	慢性期成人看護援助論	担当教員	◎松尾ミヨ子、貝瀬友子、高橋道明
必修	開講年次：2年後期	単位：2単位	授業形態：演習 60時間

**【授業概要】**

慢性疾患の概念を理解し、慢性疾患を持つ人がその人らしく生き、療養生活を送るための援助方法について学ぶ。あらゆる健康障害のある成人の診断、治療過程に伴う変化や、反応、体験を機能障害の視点から理解し、それらに対する援助方法を習得する。各論においては、あらゆる健康障害のある成人の診断、治療過程に伴う変化や、反応、体験を機能障害の視点から理解し、看護援助方法を修得する。

**【授業目的・目標】**

- 1) 慢性期・回復期にある成人の健康問題と生活の特性を理解する。
- 2) 慢性疾患を持つ人への療養生活支援についての知識と技術を修得する。

**【履修条件】**

特になし

**【授業計画】**

[01] 慢性疾患・障害をもつ対象の特徴とその看護			(松尾)
[02] 慢性疾患の治療と看護			(松尾)
[03] 機能障害のある患者の看護	呼吸機能障害患者の生活と看護	慢性閉塞性肺疾患①	(高橋)
[04] 機能障害のある患者の看護	呼吸機能障害患者の生活と看護	慢性閉塞性肺疾患②	(高橋)
[05] 機能障害のある患者の看護	循環機能障害患者の生活と看護	心不全①	(高橋)
[06] 機能障害のある患者の看護	循環機能障害患者の生活と看護	心不全②	(高橋)
[07] 機能障害のある患者の看護	消化・吸収機能障害患者の生活と看護	炎症性腸疾患	(貝瀬)
[08] 機能障害のある患者の看護	内部環境調節機能障害患者の生活と看護	関節リウマチ	(貝瀬)
[09] 機能障害のある患者の看護	栄養・代謝機能障害患者の生活と看護	肝機能障害①	(松尾)
[10] 機能障害のある患者の看護	栄養・代謝機能障害患者の生活と看護	肝機能障害②	(松尾)
[11] 機能障害のある患者の看護	内部環境調整機能障害患者の生活と看護	糖尿病①	(貝瀬)
[12] 機能障害のある患者の看護	内部環境調整機能障害患者の生活と看護	糖尿病②	(貝瀬)
[13] 機能障害のある患者の看護	内部環境調節機能障害患者の生活と看護	慢性腎臓病①	(松尾)
[14] 機能障害のある患者の看護	内部環境調節機能障害患者の生活と看護	慢性腎臓病②	(松尾)
[15] 機能障害のある患者の看護	運動機能障害患者の生活と看護	脊髄損傷	(高橋)
[16] 機能障害のある患者の看護	運動機能障害患者の生活と看護	ALS	(高橋)
[17] 機能障害のある患者の看護	感覚機能障害患者の生活と看護	メニエール病	(松尾)
[18] 機能障害のある患者の看護	脳・神経機能障害患者の生活と看護	パーキンソン病	(松尾)
[19] 機能障害のある患者の看護	脳・神経機能障害患者の生活と看護	脳梗塞①	(貝瀬)
[20] 機能障害のある患者の看護	脳・神経機能障害患者の生活と看護	脳梗塞②	(貝瀬)
[21] 機能障害のある患者の看護	脳・神経機能障害患者の生活と看護	脳出血	(貝瀬)
[22] 機能障害のある患者の看護	脳・神経機能障害患者の生活と看護	クモ膜下出血	(貝瀬)
[23] 機能障害のある患者の看護	内分泌機能障害患者の生活と看護	甲状腺機能亢進症①	(高橋)
[24] 機能障害のある患者の看護	内分泌機能障害患者の生活と看護	甲状腺機能亢進症②	(高橋)
[25] 機能障害のある患者の看護	女性生殖機能障害患者の生活と看護	子宮頸がん	(松尾)
[26] 機能障害のある患者の看護	泌尿・生殖機能障害患者の生活と看護	前立腺癌	(松尾)
[27] 機能障害のある患者の看護	呼吸機能障害患者の生活と看護	肺癌①	(高橋)
[28] 機能障害のある患者の看護	呼吸機能障害患者の生活と看護	肺癌②	(高橋)
[29] 機能障害のある患者の看護	造血機能障害患者の生活と看護	急性白血病①	(松尾)
[30] 機能障害のある患者の看護	造血機能障害患者の生活と看護	急性白血病②	(松尾)

**【教科書】**

新体系 看護学全書 メヂカルフレンド社  
 成人看護学②呼吸器 成人看護学③循環器 成人看護学④血液・造血器  
 成人看護学⑤消化器 成人看護学⑥脳・神経 成人看護学⑦腎・泌尿器  
 成人看護学⑧内分泌／栄養・代謝 成人看護学⑨感染症／アレルギー・免疫／膠原病  
 成人看護学⑩ 女性生殖器 成人看護学⑪運動器

**【参考書】**

指定なし

**【評価方法・評価基準】**

授業中のミニテスト 20%、定期試験 80%で評価する

**【講義のために必要な事前・事後学習】**

事前学習：人間病態学ⅠとⅡで学んだ疾病の成り立ちと治療法について復習しておく

事前課題については、指定した期日に提出とする

事後学習：テキスト・講義資料をもとに、復習を行うこと

**【教育目標（必須要素）との関連】**

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ：根拠に基づいた看護実践能力と関連する。

**【試験や課題レポート等に関するフィードバック】**

試験の解答は試験期間後にフィードバックする。

**【備考】**